



堀船中だより

令和 4年1月 特別号

校長 阿久津 光生

〒114-0004

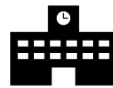
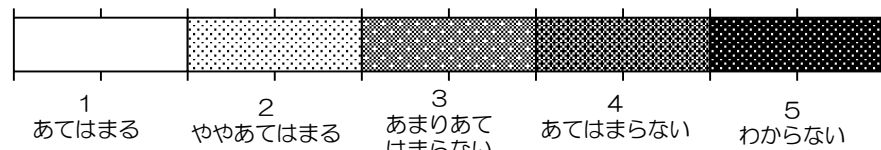
北区堀船2-23-20

Tel 03-3911-8817

心身ともに健康にして、国際的視野に立って社会に貢献し、自立した人を育成する。

教育目標 教育目標 自ら学び 自ら考え 自ら行動できる生徒

学校評価アンケート集計グラフの見方



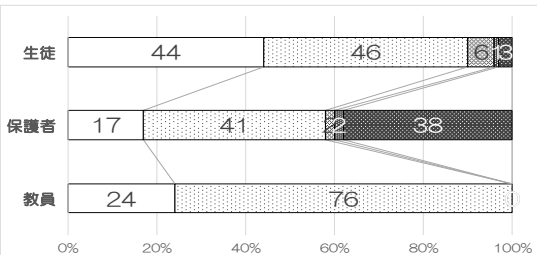
学校評価アンケート結果のご報告

12月にご協力いただきました、学校評価アンケートの集計結果がまとまりましたので、ご報告いたします。今年度も昨年度より取り入れましたインターネットを活用し、ご意見をいただきました。保護者の方からは、166件（全世帯数の約89パーセント）という多数の方々より貴重なご意見をいただきました。ご理解・ご協力ありがとうございました。

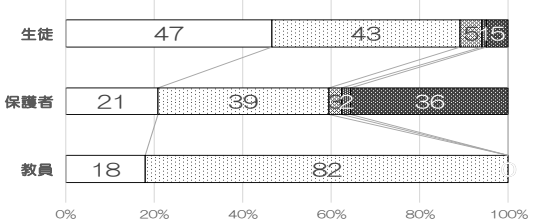
今年度は、前半は昨年から続く新型コロナウイルス感染症対策から、学校行事等の教育活動に中止や制限が残りました。10月以降国内感染者数の減少が見られ、徐々に授業公開など再開できましたが、感染予防のマスクや手指の消毒など新しい生活様式を取り入れた、教育活動となりました。それらも視野に踏まえ、皆様からいただいた評価を真摯に受け止め、来年度の学校経営に生かしてまいります。

学習指導

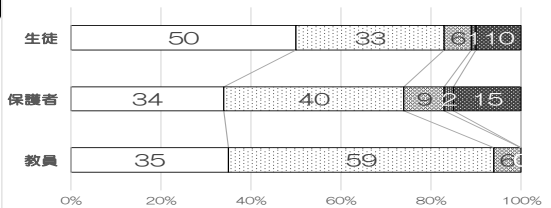
1 全体的に、教材や指導法に工夫があり、授業がわかりやすく行われている。



2 全体的に、生徒が主体的に取り組み、考えさせる授業が行われている。

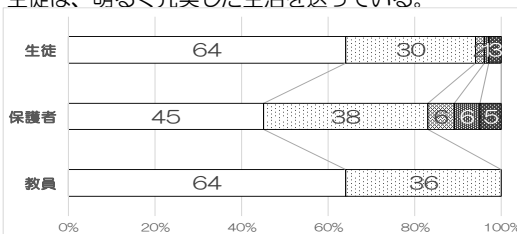


3 学校は、学習の評価・評定に関する情報を分かりやすく伝えている。

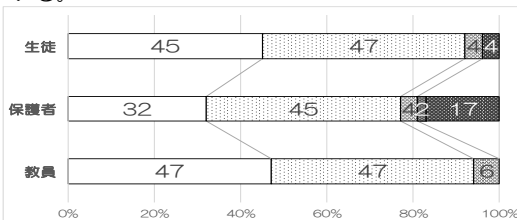


生活指導

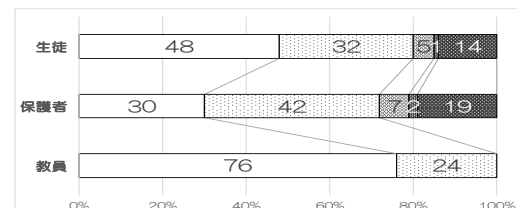
4 生徒は、明るく充実した生活を送っている。



5 あいさつや授業規律など、「落ち着いた教育環境」の基盤ができている。

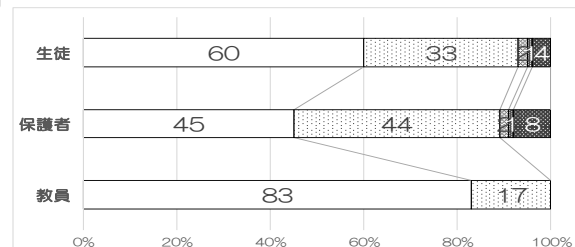


6 先生方は、生徒の悩みを聞き、適切なアドバイス をしてくれる。

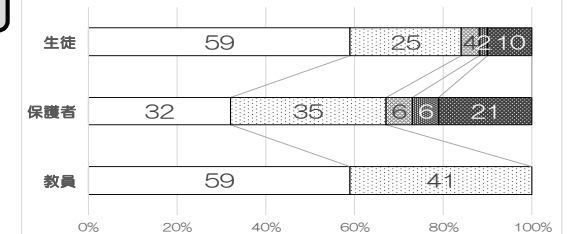


進路指導

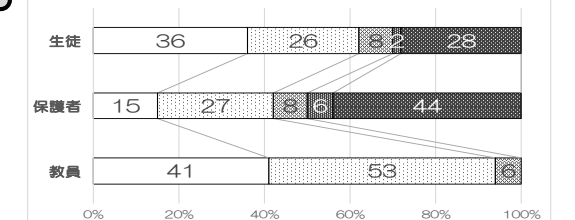
7 先生方は、生徒の健康管理や安全に適切に取り組んでいる。



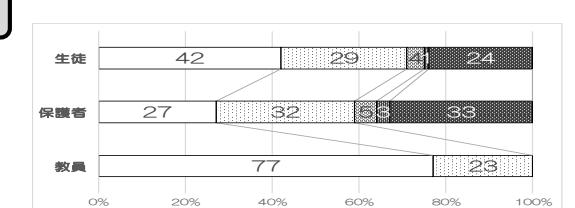
8 学校は、進路について十分な情報提供をしてくれる。



9 学校は、職場体験や上級学校訪問などの進路学習に積極的に取り組んでいる。



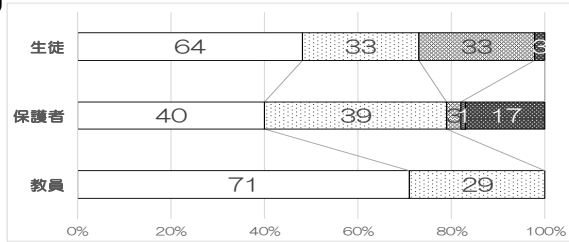
10 学校は、進路について親身になって相談にのってくれる。



特別活動等

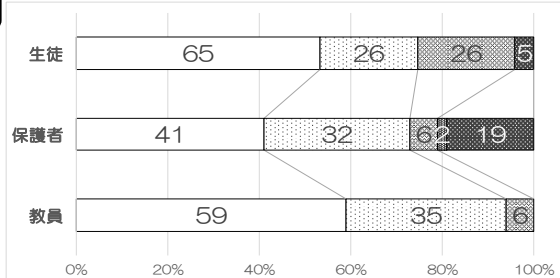
11

学校行事では、生徒が意欲的に参加し、生徒同士協力して行われている。



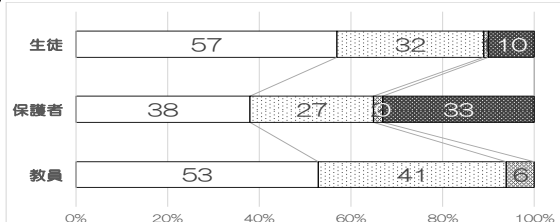
12

部活動では、生徒が意欲的に参加し、活発に行われている。



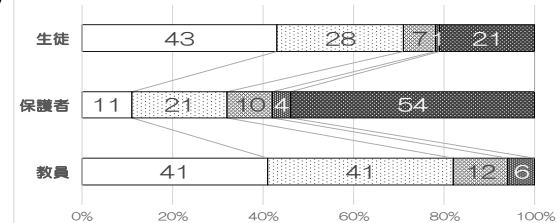
13

生徒会や委員会活動では、生徒が自主的・自発的に活動している。



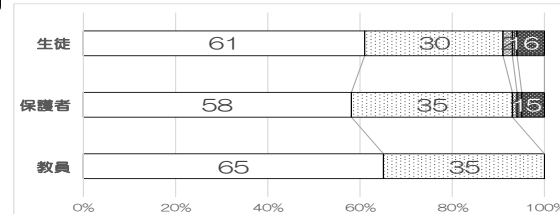
14

地域の行事やボランティア活動では、生徒が進んで参加・協力している。



19

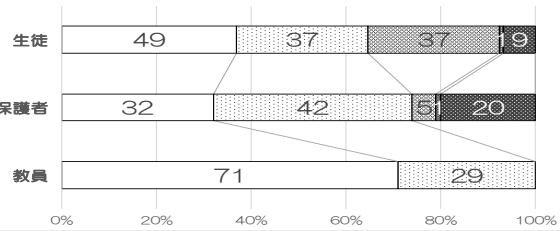
学校は、授業公開の充実など、開かれた学校づくりに積極的に取り組んでいる。



学校運営等

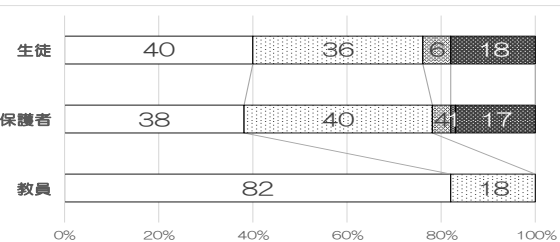
15

学校の教育目標や方針、取組みの方向性などが、分かりやすく示されている。



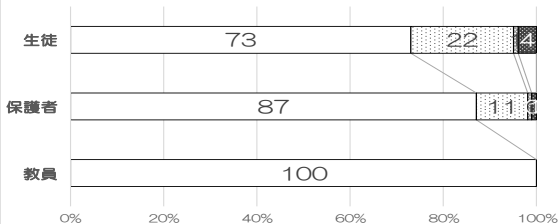
16

学校は、保護者・地域への説明責任を果たし、意見や要望に答えようとしている。



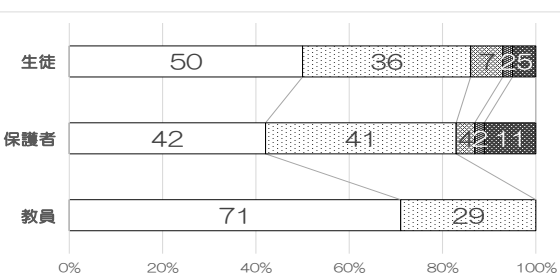
17

学校は、学校・学年だよりやホームページなどで情報発信を積極的に行っている。



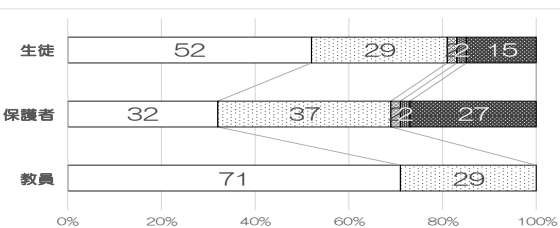
18

学校の教育環境は、安全で清潔に整備されている。



20

学校は、教職員の指導体制や協力体制がしっかりしている。



学校評価アンケートを受けて・分析

今回いただいたアンケートを集計し、項目ごとに数値分析をいたしました。その数値だけでは、教育活動の成果や課題のすべてを判断できませんが、保護者・地域・生徒の本校に対する要望や期待、あるいは課題指摘と受け止め、それらの声に応えたいと考えています。

簡略ではありますが、以下の通り整理・分析いたしました。

◆ 全体を通して

全体的に肯定的な評価が高く、学校への信頼感が高いと考えられる。しかし、否定的な意見の高かった項目については、課題として受け止め、課題分析を行い、課題解決策を講じることが、肝要である。

1. 学習指導について

「授業の分かりやすさ」の設問では、昨年と比べると肯定的な意見の割合が、生徒が9ポイント、保護者が8ポイントアップしている。生徒個別貸与の端末や各教室に設置された投影機等のICT機器を活用した授業が効果的に行われたことも一因として考えられる。その反面、学力補充の要望もあり、これに対して自学自習の場として「長期休業中の図書室の開放」「放課後自習教室」などの環境を整える。

2. 生活指導について

昨年に引き続き、明るく充実した生活環境への高い評価をいただいた。特に「あいさつ、授業規律」に関しては、昨年と比べると生徒では13ポイント高くなっており、生徒一人一人が自覚し、行動していることが分かる。引き続き生徒観察に努め、生徒の気持ちに寄り添い、必要に応じてカウンセリングを活用し、生徒の健全育成を図る。

3. 進路指導について

「進路についての情報提供」の設問では、昨年と比べると保護者では17ポイントアップした。これは昨年のアンケート結果を生かし、毎月「進路だより」を発行したり、オンラインによる「進路説明会」を実施したことが高い評価につながった。さらに、保護者、生徒とも理解を得られる進路相談を積極的に実施する。残念ながら今年度も「職場体験」と「上級学校訪問」は実施できなかった。

4. 特別活動について

特別活動では、委員会、ボランティア活動など、新型コロナウイルス感染拡大防止からできなかったり、活動が制限されたりその影響が大きかった。アンケート後の12月の地域ボランティア活動は、実に全校生徒の1/4の生徒が参加し、多く盛況であった。

5. 学校運営等について

「教員の指導体制・協力体制」については、昨年と比べると保護者では6ポイントアップした。しかしながら、肯定的意見は全体の69%にとどまっている。今年度同様に、情報を共有し学年を越えた指導の均一化を図り、組織対応を強化した体制を確立させる。